

街のイルミネーションがきれいな12月になりました。師走です。今の教員は常に師走ですから特別な月ではないともいえますが、それでも年末は心せわしいものです。

中学では高校受験のための三者面談がはじまり、三年生の担任の先生は胃の痛い思いをする季節かもしれません。高校では就職試験や推薦入試の結果などがでて、進路が決まった生徒とこれから受験で追い込みの生徒との表情の違いなども目立つようにもなります。

そんな多忙な年末、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【1】最新活動報告

11月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

秋の経済教室と二つの部会の様子を報告します。

■先生のための『秋の経済教室』を開催しました。

講師：宮尾尊弘先生(筑波大学名誉教授)

日時：2014年11月15日(土)16時00分～17時30分

場所：日本大学経済学部

内容の概略：参加者：44名

主な内容：経済教育ネットワークはじめての企画として、日本取引所グループ(東京証券取引所)との共催で「秋の経済教室」が開催されました。これは、「夏休み経済教室」のミニ版ともいえるべきもので、今回は宮尾尊弘先生の「授業に役立つ経済学」の講義です。

先生は、講義時間を三分割され講義を進行されました。第一部は、ウェブ上にアップされている「シンプル経済教室」をもとに、経済の基本問題である「需要と供給」「効率と公平」、「公共と協力」の主要なポイントをおさらいした後に、どうしたら経済問題の本質を分かりやすく手短かに生徒に伝えられるかについて解説と質疑応答が行われました。

ついで、二番目の話題として、「シンプル経済教室」のようなビデオ教材の作り方、ウェブへの掲載方法、そしてクラスでの利用の仕方などを具体的に

説明されました。

三番目に、経済のような中高生が興味を持ちにくい科目をどう教えたら、生徒たちが自主的に学ぼうとする意欲を持つのかのヒントが提供されました。

ここでは、ビデオ教材の活用による予習とクラスでの対話による、学ぶ習慣の獲得が重要であるとまとめられました。当日の様子などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2014%20keizaikyoushitsu/201411reportA/kikeizai.pdf>

また、配付資料、講義のビデオ、先生方のアンケートの結果などは以下の宮尾先生のブログに掲載されています。あわせてご覧ください。

<http://miyao-blog.blog.so-net.ne.jp/2014-11-16>

■東京部会 (No. 70)を開催しました。

日時：2014年11月15日(土) 15時00分～16時00分

場所：日本大学経済学部

主な内容：参加者15名。

(1) 最初に、来年三月予定の「年次大会」のテーマ、内容の検討を行いました。テーマは「法と経済の対話④－年金制度を巡って－」(仮)とすることになり、中川先生(日本大学)をコーディネータとして、経済学者と法学者からの問題提起、それを受けてのパネルディスカッション形式で、社会福祉問題のなかの年金問題に焦点をあてて、どのように学校で教えるべきかを論じるスタイルとする予定です。

(2) 篠原代表から、この間の活動報告と、「冬の経済教室」開催準備に関する報告を受けました。

(3) 実践報告関係では、定期考査の試験問題をもちより、そこから経済の授業のあり方、評価の方法などを検討する提案があり、了承されました。

(4) 来年夏の「先生のための経済教室」の日程案、内容が検討されました。日程は、8月3,4日が名古屋、6,7日が大阪、13,14日が東京高、17,18日が東京中を予定しています。会場も昨年と同様で実施する予定です。また、取り上げるテーマや人選を今後詰めてゆくことになりました。

(5) 最後に、篠原代表から、経済教育の在り方の原点を確認する検討を行いたいという問題提起がありました。経済教育の目的や方法、さらに何を生徒につたえるべきかについての「そもそも論」をこれまでの活動を振り返りつつこれからのためにしっかり行いたいという希望が述べられ、今後の課題として了承されました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo070report.pdf>

■大阪部会 (No. 41)を開催しました。

日時：2014年11月29日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

主な内容：まとめ次第HPにアップいたします。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの部会とイベントを開催順に紹介します。

■東京部会 (No. 71)を開催します。

日時：2014年12月4日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo071flyer.pdf>

■京都部会 (No. 27)を開催します。

日時：2014年12月13日(土) 17時00分～19時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto027flyer.pdf>

■札幌部会 (No. 11) を開催します。

日時：2015年1月31日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55 5階 (JR札幌駅紀伊国屋のビル)

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo012flyer.pdf>

■先生のための冬の経済教室を開催します。

日時：2015年1月31日(土) 13時00分～16:30分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟2階 205講義室

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2014%20keizaikyoushitsu/2015Winter%20Nagoya.pdf>

■ワークショップ川口を開催します。

日時：2015年2月14日（土）13時00分～16：00分

場所：埼玉県川口市立仲町中学校 会議室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/WS_Kawaguchi20150215RR.pdf

■年次大会を開催します。

日時：2015年3月28日（土）

場所：日本大学経済学部

内容の詳細が決まり次第HPにアップいたします。

【 3 】授業のヒント

■財政再建ゲーム

今回はウェブ上にある既存のゲーム教材を紹介します。

財務省のHPに「日本の財政を考える」というタグがあり、それをクリックすると「日本の財政はどうなっているか、調べて、見て、考えよう」というページに出ます。そこに「ゲームコーナ」があり、「財務大臣いなくて財政改革をすすめよう」というゲームが掲載されています。このゲーム、自分が財務大臣になって予算を作成（予算の項目の数字を増減させる）するというシミュレーションゲームです。

消費税の増税が問題になっている昨今、財政再建を考えさせるための教材としてなかなかよくできているゲームなので、パソコンが使える環境があれば、中高生にオススメです。学ぶ中心は基礎的財政収支（プライマリーバランス）という考え方です。ゲームは二種類あり、2015年度にプライマリーバランスの赤字を半減させるというものと、2020年度にプライマリーバランスを黒字化することを目標にするというものです。やらせる場合は、生徒に二度挑戦させて、結果を考察させ、その上で皆で検討するとよいと思います。

このゲームで財政再建に成功させるには、実はある秘密があります。ネタバレになってしまうので、その秘密はここでは書きませんが、先生方だったらお分かりになるとと思います。このゲームに隠された秘密は、財務省の悲願なんだろうと思わせる展開です。

先日、中三生徒に取り組みせてみました。二度とも財政再建に失敗して途方に暮れる生徒もいましたが、何人かの生徒がクリアしました。ある生徒いわく「財務省の陰謀だ」。「そう、陰謀かもしれないけれど、リアルな近未来でもある」という話をしました。今の中三が社会人になる時に、財政再建が成功するか、また、それが成功した社会はどんな社会になっているか、作成者の思惑を超えて考えさせられる教材です。一度試みてはいかががでしょうか。（新井）

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

突然の年末総選挙です。アベノミクスの信任投票とも身勝手な暴走選挙ともいわれますが、社会科教員にとってはネタが飛び込んできと言えるでしょう。政治学習は中学でも、高校でもすでに終わっているでしょうから、学んだ知識を確認するチャンスです。選挙がらみの授業をするなら、ぜひ模擬投票をやってみてください。残念ながら選挙管理委員会から投票箱を借りるわけにはいきませんが、比例区のクラス投票をして、ドント式の計算をすると、教室内の結果からでも、世論の風が見えてくるはずですよ。政党からポスターが借りられればなお良しです。ただし、候補者のポスターはやめにした方が無難でしょうね。

(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇